

「幸福共創」“ところ” “からだ” “もの” の豊かさを実感できるふるさとを目指して

第2次能代市総合計画

みんなで作るわのまち能代



ごあいさつ

平成18年に新しい能代市が誕生し、20年度にスタートした能代市総合計画では、将来像に「“わ”のまち能代」を掲げ、市民、各種団体、事業者、行政等が知恵と工夫を出し合い、ともに汗してまちづくりに取り組んでまいりました。

そして、このたび、これまでの取組の成果を検証し、今後10年間の新たなまちづくりの方向性を示す第2次能代市総合計画を策定いたしました。

策定に当たっては、各種アンケートの実施や、市民の皆さんとのミーティング等により、多くの皆様から様々なご意見をいただくとともに、市議会並びに地域協議会においてご協議をいただきました。

また、総合計画市民協働会議では、市民と行政との協働による検討を行い、取組の成果を測る目標指標のほか、まちづくりの主体となる市民・団体等の望ましい取組や連携等についてご提言をいただきました。

計画策定にご参加いただきました皆様、貴重なご意見・ご提言をいただきました多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

第2次能代市総合計画では、将来像を引き続き「“わ”のまち能代」とするとともに、まちづくりの基本姿勢に「真摯」「挑戦」「協力」、まちづくりの基本理念に「幸福共創」を掲げております。この「幸福共創」という言葉には、“こころ”“からだ”“もの”の3つの豊かさを実感できるふるさと能代を、市民の皆様とともに目指してまいりたいという思いを込めております。

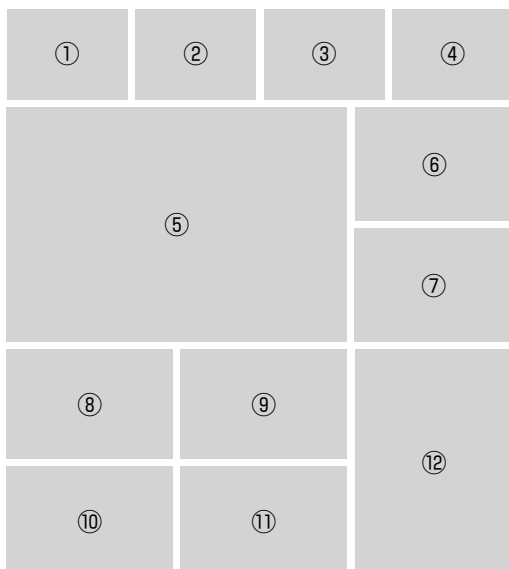
人口減少や少子化・高齢化が進む厳しい状況の中にあっても、市民の皆様と課題や目標を共有し、連携を図りながら、これまで引き継がれてきた自然、伝統・文化、生活基盤等を地域の誇れる宝として次代へとつないでいき、ともに協力して希望ある未来を築いていけるよう取り組んでまいります。

平成30年3月

能代市長 齊藤 滋 宣



表紙の絵は10年後の能代市のように市内の小学生に描いていただいたものです



- | | |
|-------------------------|---------------------------------------|
| ① 嶋津 心優さん
(浅内小学校5年) | ② 畠山 颯斗さん
(二ツ井小学校5年) |
| ③ 近藤 直翔さん
(浄城西小学校6年) | ④ 伊藤 海人さん/大森 陸琥さん/鷺尾 禮さん
(朴瀬小学校5年) |
| ⑤ 星川 大翔さん
(崇徳小学校6年) | ⑥ 桐越 きらりさん
(常盤小学校5年) |
| ⑦ 相原 煌さん
(第四小学校4年) | ⑧ 加藤 凜夢さん
(鶴形小学校6年) |
| ⑨ 吉田 ひよさん
(向能代小学校6年) | ⑩ 相原 麻里菜さん
(浄城南小学校6年) |
| ⑪ 三浦 竜翔さん
(第五小学校5年) | ⑫ 佐々木 凜さん
(竹生小学校5年) |

※学校名および学年は平成29年度募集時のものです。

基 本 構 想

(平成 30 年度から 10 年間)

基本構想では、市のまちづくりの方向性を示します。

まちづくりの基本姿勢

私たちは、能代のまちを能く代えていこうとする、能代市民です。

真 摯

私たちは、ふるさと能代に誇りを持ち、更なる一步を進める気概で、真摯に取り組んでいきます。

挑 戦

私たちは、能代市の可能性を信じ、勇気を持って、果敢に挑戦していきます。

協 力

私たちは、対話を大切にし、ともに協力して、希望ある将来を築いていきます。

まちづくりの基本理念

幸 福 共 創

新しい能代市が平成 18 年 3 月に誕生してから 10 年以上が経過しました。

平成 20 年度からの 10 年間は、「わ」のまち能代」を将来像に掲げ、旧市町の融和のほか、市民と行政の協働や多様な主体による連携を考慮しながら、市民生活の向上や地域の振興を図るための各種施策を進めてきました。

この間、人口は全国的にも減少に転じ、少子化と高齢化が進むなど、地方創生の機運の高まりはあるものの、地方にとっては厳しい状況が続いています。

そうした中であっても、雄大な自然と、先人たちが築き上げ、これまで引き継がれてきた伝統と文化、社会基盤等を地域の誇れる宝として、将来へつなげていく必要があります。

私たちは、優れた地域資源を十分に活用し、“こころ”の豊かさ、“からだ”の豊かさ、“もの”の豊かさを実感できるふるさと能代を目指して、幸せをともに創っていこうとする「幸福共創」をまちづくりの基本理念とします。

将来像

私たちは、まちづくりの基本理念のもと、これまで掲げてきた次の将来像を継承します。

“わ”のまち能代

この将来像は、次の3つの“わ”によるまちを実現しようとするものです。

健やかで
感謝と思いやりにあふれる

人と人との“**和**”

特色ある
地域の環境を最大限に活かす

地域資源で活力を生む“**環**”

地域の誇りと生活の基盤を
将来へ引き継いでいく

未来へつなぐ安心の“**輪**”

基本目標と政策の大綱

将来像の実現に向け、4つの基本目標を定め、それぞれの基本目標に関わりの大きい各分野の方向性を、政策として示します。

1 元気で魅力あるまち

私たちは、互いに認め合い協力し、健康でいきいきと活動できるよう、元気で魅力あるまちを目指します。

- (1) 地域資源を活かした特色あるまちづくり
- (2) みんなが参加し活躍する地域づくり
- (3) 心豊かな暮らしを支える健康づくり
- (4) 気軽に親しみ楽しめるスポーツ

2 笑顔で人が輝くまち

私たちは、人の豊かな心を育み、生涯にわたって自立し活躍できるよう、笑顔で人が輝くまちを目指します。

- (1) 地域や社会で支える子ども・子育て
- (2) 次代を担う子どもを育てる学校教育
- (3) 地域や社会に活かす生涯学習・文化
- (4) 地域で活躍する元気な高齢者
- (5) 自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障

3 豊かで活力あるまち

私たちは、優れた資源や環境を活かし、地域が継続して発展できるよう、豊かで活力あるまちを目指します。

- (1) 地域特性を活かした産業創出
- (2) 雇用とにぎわいを生み出す商工業
- (3) 豊かな自然や伝統・文化を活かした観光
- (4) 力強く持続する農業
- (5) 山・川・海を生かす林業・木材産業・水産業

4 安心で暮らしやすいまち

私たちは、恵まれた自然と共生しながら、確かな生活基盤を持続できるよう、安心で暮らしやすいまちを目指します。

- (1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制
- (2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク
- (3) 快適で暮らしやすい住環境
- (4) 自然と共生し持続できる環境・衛生
- (5) 調和のとれた有効な土地利用
- (6) 住民サービスに資する効率的な行財政基盤

政策推進にあたっての方針

各政策を効果的に推進するための方針を、次のとおり定めます。

1 情報共有と協働の推進

分かりやすい情報の発信に努めるとともに、多様な主体と情報を共有し、共通する課題に対し対等な立場で協力して取り組むなど、情報共有と協働を進めます。

2 横断的な連携の推進

各政策の目的を共有し、複数の政策を相互に関連づけて取り組むなど、分野・組織の横断的な連携を進めます。

3 持続可能な行財政運営の推進

優先すべき課題を踏まえた選択と集中や、行財政改革の視点で事業の検証を行うなど、持続可能な行財政運営を進めます。

基本計画

(平成 30 年度から 5 年間)

基本計画では、地域の現状や課題、施策の内容、5年後の目標指標等を表します。

この概要版では、政策ごとの目指す姿、目標指標、各主体による望ましい取組や相互の連携の主なものについてお知らせします。

基本目標 1

元気で魅力あるまち

政策 1 地域資源を活かした特色あるまちづくり

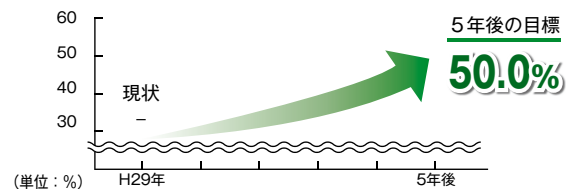
相互の連携	市民がまちづくりに取り組む仕組みを構築する (行政、団体、事業所)
市民	地域行事・祭り等へ積極的に参加する
各種団体等	市民と事業者等を結ぶ団体を創設する (NPO等)
事業者等	能代ならではのものを売り込む
行政機関	市独自のまちづくりの市民活動を支援する

【目指す姿】

地域の特性が活かされ、能代らしいまちづくりにつながる

【目標指標】

能代市を他に誇れると思う市民の割合



政策 2 みんなが参加し活躍する地域づくり

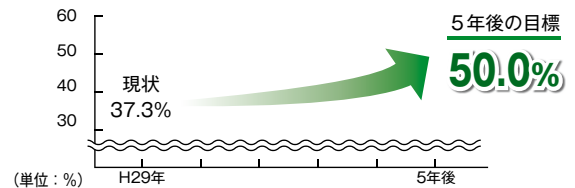
相互の連携	地域活動等の情報交換を行い、ネットワーク機能を強化する (ボランティアセンター、市民活動支援センター等)
市民	ボランティアセンターへの登録や、地域活動を含めたボランティアに参加する
各種団体等	地域活動を盛んにする場を設ける (自治会・町内会等)
事業者等	地域の一員として地域の活動に参加する
行政機関	協働をテーマにしたワークショップの実施や地域活動への市民参画を促進する

【目指す姿】

ボランティア等の活動がしやすく、団体等の交流や連携が進む

【目標指標】

自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合



政策 3 心豊かな暮らしを支える健康づくり

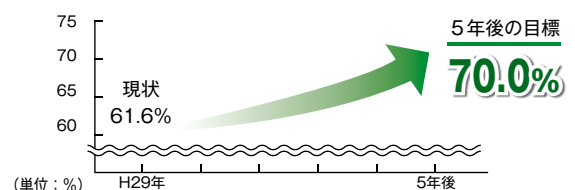
相互の連携	奨学金制度等で看護師等が地元に残るような働きかけを行う (行政、学校、医師会)
市民	各家庭が減塩や野菜を多くとる食生活に慣れ、病気の予防につなげる
各種団体等	減塩や野菜の調理実習や料理教室等を開催する
事業者等	建物内を禁煙にする (企業)
行政機関	減塩や野菜を多くとる食生活に関するPR活動を行う

【目指す姿】

普段から健康を意識して生活し、生涯を通して健康でいられる

【目標指標】

からだ健康だと思う市民の割合



政策4 気軽に親しみ楽しめるスポーツ

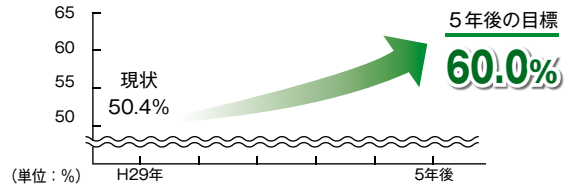
相互の連携	習慣的に活動できる場所の確保やスポーツ器具の整備に努める（市民、各種団体、事業者、行政）
市民	スポーツに親しむことを心がける
各種団体等	競技の無料体験等、世代を超えてスポーツを気軽に楽しめる環境づくりを行う（スポーツ団体）
事業者等	働き方改革を進め、従業員がスポーツをする時間を確保する
行政機関	ランニングコース等の案内看板等の整備に努める

【目指す姿】

スポーツを気軽に楽しみ、健康づくりや体力づくり、仲間づくりができること

【目標指標】

週1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合



基本目標2

笑顔で人が輝くまち

政策1 地域や社会で支える子ども・子育て

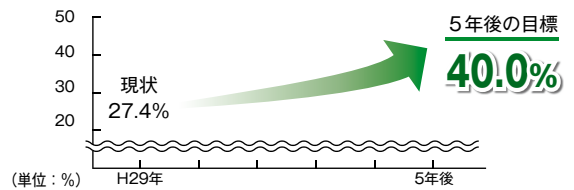
相互の連携	子ども同士の異年齢交流や世代間交流を行う（学校、NPO、地域）
市民	世代間の交流を図るとともに、子どもの安全のための見守りを行う
各種団体等	保育所や幼稚園、学校の行事に協力する（自治会・町内会、ボランティア団体等）
事業者等	仕事と子育てが両立できる就労環境をつくる
行政機関	ライフスタイルに合わせた仕事と子育てのバランスを選択できるよう制度を整える

【目指す姿】

地域で安心して子育てができ、子育てに喜びを感じられること

【目標指標】

子どもを生き育てやすいと思う市民の割合



政策2 次代を担う子どもを育てる学校教育

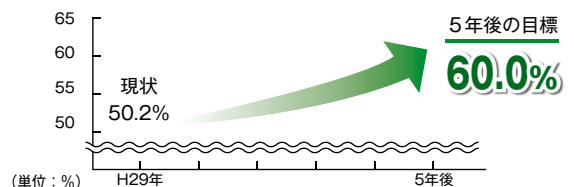
相互の連携	家庭、地域との協働による学習機会の充実を図る（学校、家庭、地域）
市民	地域の人が講師となり学校を支援する
各種団体等	地域の文化講話や体験学習を行うなど、世代間交流を進める（自治会・町内会、文化団体、PTA等）
事業者等	学校の活動や行事に協力する
行政機関	学習支援員や生活支援員の充実を図る

【目指す姿】

子どもが良好な環境で学ぶことができ、子どもの個性や能力が伸びること

【目標指標】

子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合



基本目標3

豊かで活力あるまち

政策1 地域特性を活かした産業創出

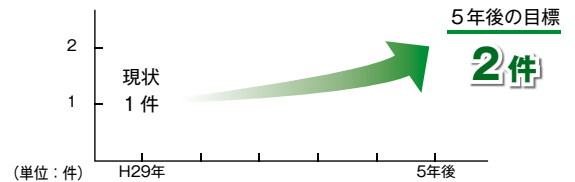
相互の連携	再生可能エネルギーや資源リサイクル関連産業に関する国・県への働きかけを行う（県、市、市民）
市民	参入企業への理解・協力を努める
各種団体等	エネルギー関連の基盤整備に関する国・県への働きかけを行う（業界団体等）
事業者等	再生可能エネルギー関連産業等に積極的に参入する
行政機関	企業誘致を進める

【目指す姿】

地域資源の活用により、産業の創出や関連企業の立地につながる

【目標指標】

商工業振興促進条例に該当する資源リサイクル関連新設・増設企業数（5カ年累計）



政策2 雇用とにぎわいを生み出す商工業

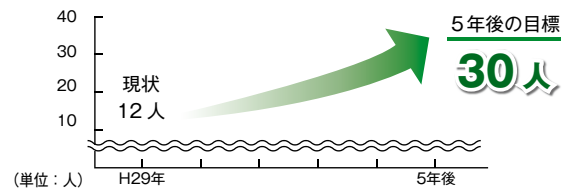
相互の連携	空き店舗の利活用を進める（市民、各種団体、事業者、行政）
市民	企業立地に対して理解・協力する
各種団体等	起業セミナーを開催するなど、起業を支援する（商工会議所・商工会等）
事業者等	起業を望む人に空き店舗を紹介する（商店主、商店会等）
行政機関	企業の支援を行う

【目指す姿】

新たな企業立地や起業により、良質な雇用の機会が増える

【目標指標】

創業者数（5カ年累計）



政策3 豊かな自然や伝統・文化を活かした観光

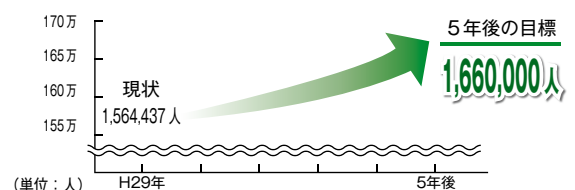
相互の連携	観光プラットフォーム構築や、SNS等の活用による情報発信を行う（市民、各種団体、事業者、行政）
市民	地元の見どころや食の良さを紹介できるようになる
各種団体等	体験観光メニューを開発する（観光協会等）
事業者等	体験観光メニューを開発し、販売する（旅行会社等）
行政機関	イベントや伝統行事等の情報や案内が伝わりやすいように工夫する

【目指す姿】

観光による交流やにぎわいが生まれ、地域に活気がある

【目標指標】

観光客入込客数



政策4 力強く持続する農業

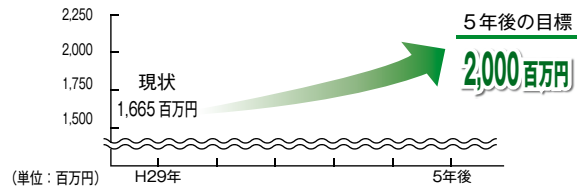
相互の連携	農産物ブランド化、高付加価値化を推進するとともにPRに努める（市民、農業協同組合、事業者、行政）
市民	贈り物等を通じて地元産の農産物をPRする
各種団体等	地産地消の協力店になることを地元の事業者働きかける（農業協同組合等）
事業者等	野菜や畜産の付加価値化、地域ブランド化を進める（生産者等）
行政機関	農商工連携による6次産業化を支援する

【目指す姿】

地元産の農産物や加工品の市場評価が高まり、産地として確立すること

【目標指標】

戦略作目5品目の生産出荷額



政策5 山・川・海を生かす林業・木材産業・水産業

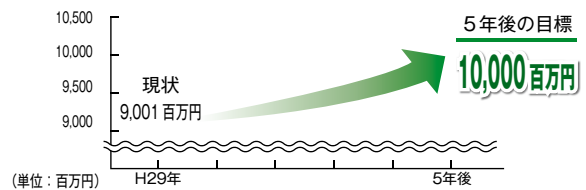
相互の連携	病院や介護施設等の非住宅分野での内装木質化による需要拡大を図る（施設管理者、製材業者、行政）
市民	木造住宅を選択する
各種団体等	製品化や商品化に結びつく木材の研究を行う（大学、研究機関等）
事業者等	外観に木を多く使った家づくりを推奨する（設計事務所、工務店、大工等）
行政機関	木のまちづくりのための支援を行う

【目指す姿】

秋田スギの利用が進み、林業や木材産業の経営強化につながる

【目標指標】

木材製品出荷額



基本目標4

安心して暮らしやすいまち

政策1 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

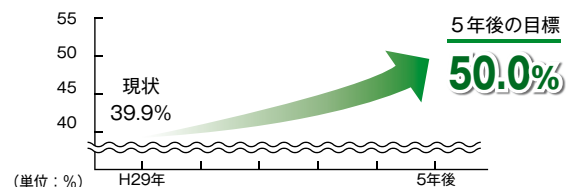
相互の連携	災害時に対応できるネットワークを構築する（各種団体、事業者）
市民	防災の出前講座等へ積極的に参加する
各種団体等	防災訓練を定期的に行う（自治会・町内会等）
事業者等	災害時に救助物資等の物的支援や人的支援を行う
行政機関	防災士の育成を図る

【目指す姿】

災害時に適切な対応がとられ、被害が最小限に抑えられること

【目標指標】

災害などもしもの場合に普段から備えることを心がけている市民の割合



政策2 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

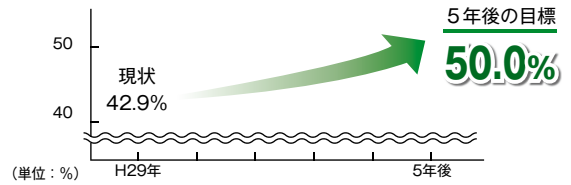
相互の連携	除排雪を地域と連携して行う (自治会・町内会、市民、ボランティア)
市民	除排雪が困難な家庭の除排雪に協力する
各種団体等	定期的な除排雪活動を行う(自治会・町内会)
事業者等	除雪技術の向上を図る(除雪業者)
行政機関	市民の除排雪作業を支援する

【目指す姿】

地域住民やボランティア等による除排雪の協力体制が整っていて、冬も安全に生活できること

【目標指標】

地域住民やボランティアによる除排雪の協力体制が整っており、冬も安全に生活ができると感じる市民の割合



政策3 快適で暮らしやすい住環境

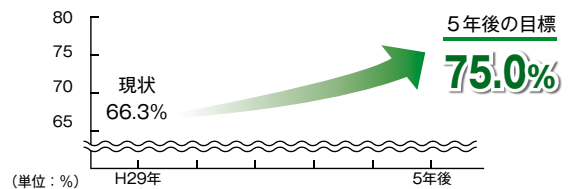
相互の連携	住宅等に関する各種制度の情報共有を図る (事業者、行政)
市民	住宅周辺の環境整備に努める
各種団体等	住宅の耐震化の必要性を啓発する(関係団体等)
事業者等	住宅等に関する各種制度を紹介する(工務店等)
行政機関	住宅リフォームを支援する

【目指す姿】

安全な居住空間があり、安心して生活ができること

【目標指標】

住宅耐震化率



政策4 自然と共生し持続できる環境・衛生

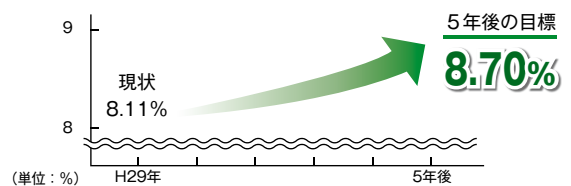
相互の連携	のしろクリーンパートナーへの登録を促進する (市民、団体、事業者、学校、行政)
市民	リサイクルの向上を心がける
各種団体等	自然環境の美化・保全活動や巡回指導を行う (ボランティア団体等)
事業者等	ごみの分別の徹底やごみを極力出さない工夫を心がける
行政機関	環境に対する市民意識を高めるよう率先して取り組む

【目指す姿】

身近な環境や自然、エネルギーに関する理解が深まり、地域ぐるみの環境活動につながる

【目標指標】

リサイクル率(能代市回収分)



政策5 調和のとれた有効な土地利用

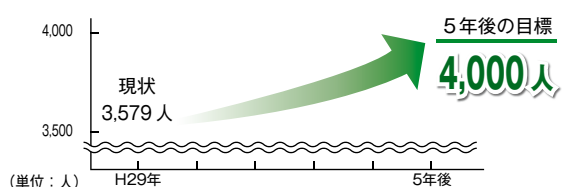
相互の連携	市街地での観光・イベント等の連携を図る (観光協会、事業者、行政)
市民	空家、空き店舗の売却に努める(所有者)
各種団体等	空き店舗、空き地の利活用を行う
事業者等	空き店舗、空き地の利活用を進める
行政機関	街なかの再生手法を検討する

【目指す姿】

中心市街地の定住促進や交流人口の増加により、人が集まり活気があること

【目標指標】

中心市街地の歩行者・自転車の通行量



政策6 住民サービスに資する効率的な行財政基盤

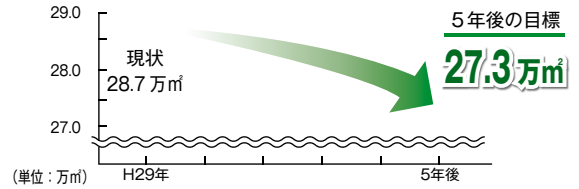
相互の連携	地域の状況や課題を共有して地域づくりを進める (市民、各種団体、事業者、行政)
市民	公共施設の相互利用を理解する
各種団体等	地域の課題解決に自主的に取り組む (自治会・町内会等)
事業者等	外部委託や指定管理者制度等で民間のノウハウを提供する
行政機関	公共施設の統廃合とコンパクト化に努める

【目指す姿】

適正な受益と負担のもとで、収支のバランスが保たれ、将来にわたって行財政運営を持続できること

【目標指標】

公共施設の延床面積



重点的かつ横断的な取組

将来像の実現に向けて、次の3つを重要課題として位置付け、重点的かつ横断的に取り組めます。

若者の定住につながる
産業振興と雇用確保

子どもを生き育てやすい
環境づくり

健康をキーワードとした
各分野の施策の推進

計画の推進

1 計画の推進体制

庁内において部局横断的かつ総合的に本計画の施策を推進するため、能代市総合計画推進会議を設置し、全庁体制で取り組んでいきます。

また、市と市民の協働により本計画を推進するため、能代市総合計画市民協働会議を設置し、進行管理を行うとともに、連携を図りながら取り組んでいきます。

2 計画の進行管理

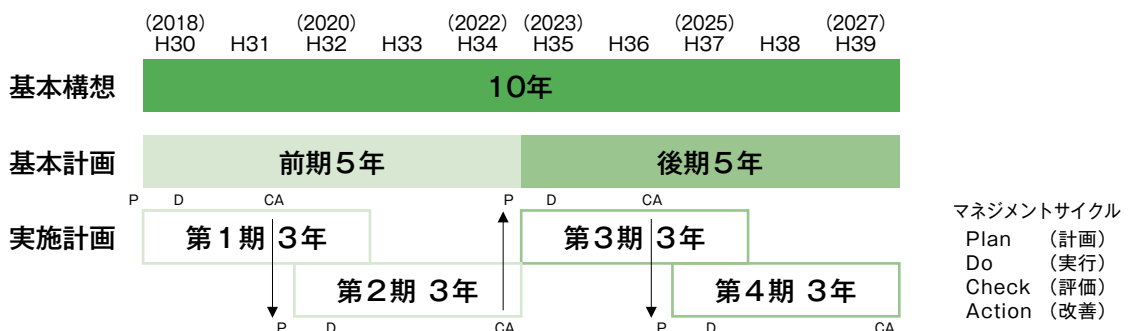
本計画の進行管理は、目標指標に対する進み具合を点検しながら、P D C Aサイクル (Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善)) のマネジメント手法により行います。

3 計画の見直し

基本構想は、その期間が終了する平成39年度に、基本計画は、前期計画が終了する平成34年度と後期計画が終了する平成39年度に、それぞれ新たな計画を策定します。

ただし、今後の社会経済情勢等に大きな変化が生じるなど、本市のまちづくりに大きな影響が見込まれる場合には、計画期間中であっても、変更または改定を行います。

<第2次能代市総合計画のP D C Aサイクル>





能代市民憲章

わたしたちの能代市は、

北に世界自然遺産白神山地を望み、西に雄大な日本海と風の松原が広がり、
地域を潤す米代川、四季を彩るきみまち阪など、美しく豊かな自然に恵まれています。
わたしたちは、このすばらしい自然と歴史、文化の豊かなまちに住むことを誇りとし、
「わ」のまち能代の発展と、健康で幸せな暮らしをめざし、ここに市民憲章を定めます。

- 和** たがいを思いやり、たがいに助け合い、
人と人がつながるまちを創ります。
- 環** 豊かな環境をいかし、
あすを開く元気なまちを創ります。
- 輪** 郷土の自然や伝統、文化を大切にし、
平和で安心して暮らせるまちを創ります。

能代市の花

桜(さくら)



能代市の木

黒松(くろまつ)



秋田杉(あきたすぎ)



能代市の鳥

雉(きじ)



平成24年3月21日制定

第2次能代市総合計画全文の冊子は、市役所新庁舎市民交流スペース、二ツ井地域局市民フロア、各地域センター、富根出張所、市立図書館ほかでご覧いただけます。
また、ホームページでも公表しています。 <http://www.city.noshiro.akita.jp/>

総合計画に関する問合せは 総合政策課 ☎ 89-2142